

# Okayama Shoka University

# Shodai365

学報2008/9月号

Vol.92

岡山商科大学学報

2008年(平成20年)9月19日発行

## 商学部は 経営学部へ 進化します。



岡山商科大学は経営学部を新設します。本学は商学部商学科の単科大学として1965年4月に発足し、爾来、社会の進展と共に、「社会に有為な人材を送り出す」ことを設立理念として、鋭意努力してきました。1971年には産業経営学科を設け、1991年には社会の成熟化にともない法学、経済学にわたる学際的な学部として法経学部を設け、今日では法学部、経済学部として展開してきたところです。

ところで、時の移り変わりには激しいものがあり、社会のニーズも急速に変化してまいりました。例外なく、本学の大黒柱である商学部は社会の成熟化に伴い、商業高校の統廃合に見るようにその成立基盤の変貌に対応せざるを得なくなりました。このために、このたび商学部のテリトリーをより包括的に捉える経営学部に発展的な展開を図り、従来の流れを汲む商学科と新たに経営学科を設け、新しい時代のニーズに応えるものとしました。新しい時代に向けて新たな教学体制の構築を狙ったアジアビジネス専攻、ファイナンシャルプランニング専攻の設置はまさしく

現代社会のニーズを先取りしたものに他なりません。「社会と呼吸する大学」として、引き続き社会のニーズに積極的に応えて行きたいと考えています。全学あげての結束を祈念いたします。



オープン  
キャンパス  
開催



### CONTENTS

#### 〈商大トピック〉

- ファイナンシャルプランニング専攻  
開設記念講演会開催
- 後援会総会開催

#### 〈アジアリポート〉

- アジアビジネス専攻第Ⅱ期生の様子

#### 〈就職便り〉

- インターンシップで社会人体験

# 商大トピック

Topic 1

## オープンキャンパス開催

2008年度オープンキャンパスが7月19日(土)、8月1日(金)、8月30日(土)の3日間開催され、多数の高校生、保護者の方にご参加いただきました。

オープンキャンパスは大学がキャンパスを1日解放して受験生や保護者を対象に、大学の研究内容や学生生活など知っていたくために実施するものです。今年度も訪れた皆さんに岡山商科大学の魅力を十分体感していただくため、毎年好評である「学科紹介・模擬授業」のコーナーをはじめ、在学生とフリートーリングができる「先輩トーク!本音でトーク」、レディースルームを利用し女子高生限定の「女子大生気分で話してみよう」、大学生活を疑似体験できる「キャンパスライナビ」など、趣向を凝らした全18のコーナーを用意させていただきました。

今年の目となるコーナーとしては、今年度から本学園のバスケットボール部監督に就任した元プロバスケットボール選手の納谷幸二氏による「バスケONE POINT LESSON」を開催し、暑い中、バスケットボールに興味のある生徒が巧みな技を教わっていました。また、当日に内容が明かされる「マル秘イベント」では、水餃子や流しうめんが100食分用意され、親子で美味しい姿がとても印象的で、今年も本学らしい活気のあるオープンキャンパスとなりました。(入試課)

Topic 2

## FP専攻開設記念講演会 ～松本大氏を迎えて～

本年4月に本学商学部に開設されたファイナンシャルプランニング専攻の開設記念講演会が、7月3日(木)午後6時30分から、講師にマネックス証券㈱代表取締役・CEO松本大氏を招き、「投資の時代～世界の金融市場の動向と資産運用～」というテーマで行なわれ、一般190名、学生90名の合計280名の多数の参加者があった。

講演では、これまでの右肩上がりの経済が終焉し、低成長、低金利という時代における資産運用では、国際分散投資が重要になる。それには、GDPの変化を読まなければいけない。産業革命以来、世界の情報、技術、富には偏在がみられていたが、IT革命と中国、インドの台頭で経済とGDP分布は産業革命前の人口ベースに回帰することになろう。世界の8000兆円に達するお金の流れもそれにあわせて大きく変化することになると世界の金融市場とお金の流れに対する格調の高い見解を示された。さらに、サブプライム問題、オイルマネー、日本株とコーポレートガバナンスなどの具体的な問題に

も言及され、多数の聴衆を魅了された。(商学部教授 坂下 晃)

Topic 3

## 後援会総会開催

7月5日(土)「岡山商科大学後援会総会」を開催し、約50名の保護者の方が出席されました。

会場となった3号館321教室は、文部科学省の補助金の支援を受け、今年の4月リニューアルしたばかりのパソコン教室です。お披露目も兼ねてこの教室で開催させていただいたのですが、みなさん最新の設備に驚かれた様子でした。

事業報告や事業計画等についてご承認をいただいた後、教育・研究の取り組みや教学、就職等、各担当から限られた時間ではありますが本学の現状を説明させていただきました。きっと商大を身近に感じていただく良い機会になったのではないかと思います。また、今年度から新たに5名の保護者の方に、後援会役員に加わっていただきました。新役員の皆様どうぞよろしくお願い致します。

短い時間ではありましたが、保護者の皆様方と数少ない交流の場を持て、有意義な時間となりました。(総務企画課)

Topic 4

## ユニセフ特別講義

フィリピンの現状～今フィリピンの子供たちは～

去る6月19日(木)Ⅳ限、教養ゼミの時間にユニセフ岡山支部の協力を得て、特別講義「フィリピンの現状～今フィリピンの子供たちは～」を行いました。ゼミ単位での参加が多く、合計163名の学生が熱心に聴講しました。

まず、多くの子供たちが未だに困難な状況に置かれている事実が、スクリーンを用いて具体的に説明されました。次に、フィリピンの歴史を大きな流れで捉えた講義がありました。そして最後に、今現在の日本との関係が深いフィリピンの「バナナ」産業と、その中で農村がこうむっている被害についての説明と、それを聞いての学生間でのグループ討論が行われました。

実際にフィリピンの現場へ出かけて、自分の目で観察してこられたユニセフの方々のお話は実態を踏まえた、生き生きとした重みのある講義で、学生たちも真面目に講義に取り組み、終了後のミニレポートにもこの特別講義で初めて知ったことや、印象に残ったことなど色々と書いてくれました。(法学院教授 越智悦子)

Topic 5

## 留学生学外研修開催

晴天に恵まれた7月30日(水)、留学生学外研修旅行を実施したところ、今春本学に入学した留学生124名、教職員11名の計135名の参加がありました。

備中国分寺五重塔、与島展望台、瀬戸大橋、キリンビール岡山工場見学というコースの研修旅行です。

与島展望台で瀬戸内海を一望した後、瀬戸大橋見学では橋の内部を見学、昼食には瀬戸

内海の魚介類を使ってのシーフードバーべキューをいただき、キリンビール工場ではビールが出来る工程を見学。ビールの原料となるホップや麦芽なども見たり触ったりと、まだ日本に来て日の浅い留学生達にとって大変貴重な経験になりました。



この研修旅行を機会にこれからも日本の文化に触れ、見聞を広め、充実した学生生活を送ってもらいたいと思います。(留学生係)

Topic 6

## 省エネルギー対策について

平成20年5月26日に政府による省資源対策推進会議が開催され、6月1日から9月30日までの「夏季の省エネルギー対策について」の決定がされました。

これに伴い、本学においても教職員に対して次①～⑥のご協力をお願いをしているところです。

①冷房中の室温は28℃を目安とする。  
②部屋を空けるときには、冷房・電気を消すようにする。  
③不要な照明は消すようにする。  
④節水に協力してください。  
⑤帰宅時には電気ポットを消すようにする。  
⑥定期的にノーカーデーを作りましょう。」

夏・冬は冷暖房需要を中心にエネルギー消費が大きなピークを迎える時期です。地球温暖化防止の観点から省エネルギー(①～⑥)の取り組みについて、学生、教職員の皆様へのご協力よろしくお願いいたします。(総務企画課)

Topic 7

## 岡山県生涯学習大学

本年度も、7月28日～8月21日までの8日間、岡山県生涯学習大学院コース「国際理解」を「暮らしと国際理解」というテーマで実施しました。

例年になく、暑さの厳しい夏だったにもかかわらず、多くの方が受講くださいました。

講師として商学部の8名の先生が担当され、それぞれ工夫を凝らした講義内容で、大変分かりやすく楽しかったと好評でした。

また、講義終了後にも個別相談をされるなど、とても熱心に受講されている姿を拝見し、受講者の方から学ぶべき点が多いと改めて感じました。

最終日には閉講式を行い、大崎所長から修了証書をお渡しして記念撮影をしました。(社会総合研究所)



Topic 8

## 台湾「建国科技大学」に学生派遣

パック旅行の観光では味わえない世界、人ととの繋がる世界がここにはある。私は去年の夏、韓国の忠清大学で行われたUCCワークキャンプに参加した時にそれを知りました。

英語とジェスチャー、ほんの少しの日本語を交えながらコミュニケーションをとることで、少しずつ彼らの文化を知っていきます。

「想像力を最大限に発揮して、相手の想いを汲み取ることで、相手と心を通わせることができる。」

もう一度その感動を味わいたいと思い、台湾の建国科技大学のデザインキャンプに参加した私で

したが、今回も優しい仲間たちに囲まれ、中国語とデッサンの授業を受けながら、彼らの故郷での生活を堪能できました。

ぜひこの感覚を皆さんにも味わってもらいたいと思います。(大学院商学研究科 岡本夏織)

私はこのたび7月に台湾で行われたデザインセミナー研修に初めて参加しました。

台湾は日本から2~3時間で行ける近い国です。私は台湾に行くのが初めてだったので到着するまで「ドキドキ&わくわく」しました。気温は日本より少し暑いですが、見た目が日本に似ています。しかし、周りが漢字だらけで日本の漢字と少し形が異なるのでここは中国文化圏の国なんだなあとと思いました。

空港に到着するとすぐに現地の大学関係者が空港まで迎えに来てくれていて、そのままバスで建国科技大学(台中の彰化市)へ向かいました。

研修先には同じ研修に参加するために韓国から多くの学生も参加していました。研修授業は毎日、午前中は台湾人講師のデザイン授業を受け、午後からは中国語の授業がありました。台湾の地で日本、台湾、韓国と言う隣国で違う言葉を話すものの同士が「言葉の壁」を越えた交流ができるので毎日が充実しており、とても楽しい研修でした。

最終日には観光もあり、台湾の原住民の村を訪ねたり、台北の故宮博物院、台北101などに行ったりとても楽しかったです。

私自身、機会があればまた参加してみたいと思いました。参加されたことない方は、ぜひ次回参加してみてください!(商学部商学科 殷 京美)

## Topic 9

### 初開催!韓国・忠清大学でハングル研修

私は8月4日~8月23日の3週間、韓国の忠清大学で行われたハングル研修に参加しました。本学からは私を含め4名、その他にも中国の天津商科大学から5名、台湾の建国科技大学から11名の学生が参加していました。

中国と台湾の学生の中には韓国語で会話ができる人もいましたが、日常会話は常に韓国語、中国語、英語、日本語の4ヶ国語を交えて話をしないと会話が通じない状態でした。

授業は主に会話・聞き取り、読み書きを中心でしたが、パワーポイントを使用するものもありました。授業最終日には、パワーポイントを使用しての試験があり、それぞれの国ごとに韓国語で自己紹介、大学の紹介、出身国の紹介を行いました。

その他にテコンドー(韓国の格闘技)や韓国のドラマなどの鑑賞を行う授業もあり、韓国という国について深く学ぶことができました。

授業が終わった後は、忠清大学の日本語通訳科の学生や中国、台湾の学生達と一緒に街へ遊びに行くこともありました。

週末には独立記念館や博物館等に行き、韓国の歴史や文化について学ぶことができました。

私はハングル研修に参加したことにより、語学力が上達しただけでなく、国境を越えた人ととの繋がりや様々な国同士の繋がりを学び、また韓国や中国、台湾の学生達と交流したこと、それぞれの国に対するイメージが変わりました。そして何よりも国境を越えて友達ができたこと、また言葉だけでなく、お互いの国について理解することができたことが自分にとって大きな財産になりました。

今後も語学力を高めていき、韓国という国についてもっと深く学んでいきたいと思います。(商学部 商学科 2年 前原 美紗)

## Topic 10

### 四川大地震に対する募金

2008年5月12日14時28分、私の祖国である中国の四川省で大地震が起こりました。建物の80%が倒壊してたくさんの人が亡くなり、強いショックを受けました。

私はこのような厳しい状況で自分も力を入れようと思い、一ヶ月のバイト収入を募金に出しました。地震で家も両親も失った子供たちに役立ててほしいからです。早く故郷を再建して子供達が学校に戻る事を願っています。



また、日本の皆様に感謝します。地震が発生した後、救助隊を送ったり義援金を募ったりして助けに来てくれて心からお礼を申しあげます。本当にありがとうございました。(商学部商学科 刘丹)

## Topic 11

### 大連外国语学院大学との遠隔入試説明会

平成19年度文部科学省情報化事業の採択により完成した「コンピュータ支援(CAL)システム(321室)」の双方向音声・画像送受信機能を使用して、大連大学と3年次編入のための入試説明会を平成20年6月12日12:00~13:00に実施した。

大連大学には、本学の受験希望者13名が出席し、井尻学長の挨拶に続き、岡本商学部長、山下経済学部長、西浦法学部長から各学部の説明がなされた。説明後、出席学生との質疑応答がなされた。説明内容を受験学生に十分に理解させるために、本学黎准教授に中国語での説明を付加した。学生の日本語能力は高く、日本語での説明、質疑が滞りなくなされ、本システムを使用して本学での入試説明の新しい手法として取り組めることが確認できた。



その後、現地での入学試験において、面接の際に、既に遠隔画像による顔を見ながらの説明をしているので、その情報を基に面接ができることも、本システムを使用することの長所であることも明らかになった。(商学部 教授 大崎紘一)

## Topic 12

### 県高等学校商業教育協会の教員研修会を開催

岡山県高等学校商業教育協会国際ビジネス分野研究委員会主催のファイナンシャル・プランナー教員研修会が岡山商科大学で開催されました。



この研修会は、ファイナンシャル・プランナー3級資格取得をめざしている生徒の指導をする先生のために、产学官連携センターに依頼し高大連携の一環としておこなわれているものです。



商学部の坂下晃教授を中心に多くの商科大学のFP担当の先生を講師として、受検6科

目のポイントを3日間で講義していただくものです。

参加した商業科25名の先生方は熱心に取り組んでいます。また、7月22日には、大崎紘一副学長をはじめ講師の先生方と教育懇談会をもち、コミュニケーションがさらに深まりました。

後1回となりましたが、しっかり学習し生徒の指導に当たりたいと思います。(岡山県高等学校商業教育協会 国際ビジネス分野研究委員会)

## Topic 13

### 岡山リサーチパーク「おもしろ体験でえー」出展

近年、青少年への科学技術・理科教育の重要性が叫ばれているが、青少年への科学技術の啓発をめざして、岡山リサーチパーク「おもしろ体験でえー」が岡山県や(財)岡山県産業振興財団、岡山リサーチパークインキュベーションセンターなどの主催で、7月25、26日の二日間にわたって開催された。今回、商学部の小松原研究室では「コンピュータでラジコンカーを走らせよう」というタイトルで、体験イベントに出展参加した。



出展したイベントは、パソコンでデータを作成してラジコンカーを制御し、コースを完走させようというものである。これまでにも(独)科学技術振興機構の助成を受けて、岡山県立岡山操山中学校での講座を開催するなどしてきましたが、今回はこれまで使っていたソフトウェアを一新し、ネットワークを通じて制御データをやり取りすることができるものを開発、運用した。

「おもしろ体験でえー」全体会員者は5170名、本ラジコン制御イベントへの参加者も250名以上を数え、盛況であった。これだけの数をこなすことができたのも新たに開発したシステムによるところが大きい。大勢の子供たちに情報科学技術を楽しみながら体験してもらうことができ、有意義な2日間となった。また、本イベントを無事に終了できたのは、協力してくれた研究演習の学生諸君に負うところが大きい。今後も将来を担う子供たちに、情報・科学技術への興味をもつてもらえるように社会への貢献を継続していくと考えている。(商学部教授 小松原実)

## Topic 14

### 海外インターンシップ出発式

今年も2名の学生が海外インターンシップとしてフィリピンに向け出発しました。参加したのは、商学部商学科4年生小野正記さんと同3年生の姜徹旻さんの2名。8月25日にJR岡山駅で出発式を行い、26日午前の関西空港発フィリピン航空にてマニラへ向かい、9月5日まで就業体験を行います。受入企業は、(株)石井表記(本社:広島県福山市)の現地法人JPN社(プリント基盤製造装置メーカー)。現地では、生産工程・営業同行などを体験します。(就職課)



# 「意味はわからずとも…」

経済学部講師 小塚 匡文

先日、学生の合宿で「岡山県青少年教育センター閑谷学校」を訪問した。ここではセンターに隣接する閑谷学校の見学が教育プログラムに含まれている。よく知られていることであるが、閑谷学校は、岡山藩主・池田光政によって創立された、世界最古の庶民学校である。その教育内容は、論語などの漢籍の素読であった。漢籍の素養は、当時の支配階層である武士には必須の教養であったが、これを庶民にも還元したのである。庶民向けの教育機関でありながら、読み書き算盤や農業に関する教育をしていなかった点は意外であるが、身分差の厳しい江戸時代において、身分を問わずに教育の機会を提供した、きわめて先進的な学校であるといえよう。閑谷学校に通った生徒たちは、先生の後について漢籍を音読していくことで、次第にその意味を理解し、そして人としてるべき姿勢を学び、やがて村々の指導者となっていました。そのうえで、この話を聞いて、私は湯川秀樹博士の話を思い出した。言うまでもなく、彼は日本人初のノーベル賞を受賞した物理学者であるが、才にも優れ、漢籍の素養も抜群に出していた。彼は幼い時から自宅で漢籍の素読を習っており、意味もわからないままこれを繰り返していた。しかしこ

のうにして培われた漢籍の素養は、その後の彼の人生で、大いに役に立ったそうである。

漢籍は、古くから読み継がれた書籍であり、そこには含蓄のある文言が多い。今回、閑谷学校を訪問して、これらを読み返すことの重要さを改めて認識した。先づ隗より始メヨ。私も、かつて習ったことを思い出しながら、まずは高校時代に使った漢文のテキストを読み直してみようか、と考えている。

最後に、私が感銘を受けた論語の一節を紹介して、この駄文の終わりとしたい。

「君子博学於文。約以之礼。亦可以弗畔矣夫。」

(君子ハ博ク文ヲ学ビ、之ヲ約スルニ礼ヲ以テスレバ、亦以ツテ畔カザルベシ。)

論語「雍也」より

## 作家の視点

江戸川乱歩賞作家

石井敏弘

本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

### 文化の回帰現象について

昨今、様々な文化面でリメイク、カヴァー、トリビュートといった作業がさかんに行われています。映画、音楽、漫画などもそうです。

ひと昔ふた昔も前に行われた創作物が、現代的な視点で新たな装いを得て世に送り出される。これは数年前から起つてきた文化現象の一つだと思います。

眞に人を感動させるものは、すでに創り出されてしまった。私たちはその先人たちの軌道の上に、列車を走らせているだけなのかも知れません。

自分が面白いもの、素晴らしいものを創作しているんだと思い込み、傲慢な創作を続けていたクリエーターたち、アーティストたちは、ここへ来て、ハタと我に返ったのかも知れません。私たちの立つ土壤、文化的基盤。これらの豊かな土壌の上に、今花を咲かせていらるるのだということを。

それだけ文化が爛熟し、一つの袋小路にはまりこんでしまったのかも知れません。この現象は、あと数年間ほどは続くのではないかと、私は想像しています。推理小説もまた、独創的な創作、本当に面白い創作はすでに書き尽くされてしまった、と言われて久しいジャンルです。だからこそ今一度、原点に立ち返つてみる必要があるかも知れません。

温故知新という言葉はそれ自体古いですが、その中には生命サイクルの真理のようなものが含まれているように思います。

おそらくこの一種の逆流現象の先に、再び新たな創作が行われるようになるのでしょうか。

## 著書紹介

### 井尻昭夫著『経営学読本』 —歴史的連続の中の企業行動—

ふくろう出版(2008年6月、207頁)

この度、『経営学読本』を出版しました。本書は留学生のための講義科目である「日本事情」の体験を踏まえて書いたものです。本書の第1部は経営学の中心的な理論の概説、2部は日本の経営の生い立ちを、第3部は現代社会における企業行動について「事例研究」という形で日本経済新聞の記事を中心としてテーマごとに論じたものです。

時あたかも日本政府は留学生受け入れ30万人計画を打ち出しておらず、本学の留学生への取り組みは確かな歩みを遂げています。こうした流れの中で本書が留学生の能率的な勉学の一助となれば喜びです。



# Asia Report アジアレポート

## 第Ⅱ期アジアビジネス専攻研修生の様子

商学部教授 岡田 浩二

今回の大連出張の目的は、商大留学生に出張講義を行うことでした。まずは、全員の元気な顔を見てほっとしました。留学して良かったと皆が言ってくれ、さらに嬉しく思いました。学生達の話を報告します。

その1、中国に来る前に持っていた中国ならびに中国人に対するイメージが変わったそうです。以外に多くの親切な中国の方々に出会ったとのことです。

その2、大学では韓国からの学生が多く、中国語を使って韓国の友達が出来たそうです。

その3、夏休みには、中国をもっと知りたい、もっと見たいと、皆で2週間位のツアーを今計画しています。

以上、留学して、中国語を学び、現地の人達にふれ、国際理解が深まっていく留学生の様子が、ひしひしと私の身に伝わってきました。



## 留学で得た大切な出会い

アジアビジネス専攻第Ⅰ期生 大熊 章広

私が中国に留学する事が決まった時は、1番大切なことは語学勉強だと思っていました。確かに、中国での生活において、中国語を話せるか話せないかで1年間の生活は大きく変わると思います。しかし、1年の留学生活を終えて1番大切だと思うのは人との出会いです。一緒に勉強した中国人や、一緒に中国語を勉強している日本人や外国人、同じ部屋で短い時間の中、お互い信頼するほど理解しあえた韓国人の同居人、寮のお世話をしてくれた中国人の方、一緒にサッカーをしてきた大連で働いている日本人の方々、他の大学に通って一緒に留学生団を活動してきた友達など、留学では様々な出会いがあります。私はこのような様々な人の出会いがあるからこそ、もっと話したいと勉強し、この人達が居たからこそ、辛い留学生活も楽しい留学生活を変えることが出来ました。

中国人や他の留学生に話しかけるという事はとても勇気が必要です。その1歩を踏み出せなくて、戸惑っていた時期もありました。しかし、一歩踏み出てしまえば、色々な人の出会いがありました。留学している間は気づくことができませんでしたが、帰国が近づけば近づくほど1日1日がとても大切だと気づくことができました。

留学で多くのことを勉強でき、自分に自信を持つことができました。恐らくこの経験を味わえば、言葉がまったく話せなくても、海外に1人で行くことが出来ると思います。人は言葉が解らないとしても表情や身振り手振りで、大体の意思は伝わると分かりました。理解する上で何が必要か、それは理解しようとする気持ちだと思います。これは日本では経験できない大切な人生の宝物です。本当に留学できてよかったです。もし機会があればもう一度大連外国語学院大学に留学したいと思います。

## 大連からニーハオ！

私が中国に来て4ヶ月が経ちました。この4ヶ月は本当に短い4ヶ月だったと思います。中国に来たばかりの時は、中国の環境や人間関係からストレスなどで体調がすぐれないこともあります。最近は体調も良く(最近身体很好)、毎日楽しく過ごしています。毎日ある中国語の授業はついていけず大変ですが、先生はとても親切で楽しいです。買い物では値段を下げるのが大変でいつも苦労しながら買い物をしています。しかし、これは日本では経験出来ない事なので、これもまた楽しんでいます。私のルームメイトはナイジェリア人のポールです。このような国際交流が楽しめるのもうれしいです。

(アジアビジネス専攻第Ⅱ期生 河田 一成)

- 自分は昔、この地で勉強していたので、飛行場を降りて大連の地に立った時は、懐かしさでいっぱいでした。久しぶりに使う中国語はうまくいかず、外国人に通じない時もありました。しかし外国人と日々交流していくうちにブランクも埋まっています。この大学の生活にも慣れてきて、生活中に困ることも無くなりました。
- 留学も前期が終わり、夏休み明けには後期の授業が始まります。これから色々と留学生活で困ることがあると思いますが頑張っていきたいです。

(アジアビジネス専攻第Ⅱ期生 岡林 佑典)

## 孔子学院便り 中国文化体験講座を開催

中国語と中国文化的普及の一環として、地域の方にも身をもって中国文化を体験していただく目的で、8月5日と7日の午前10時～11時半、本学孔子学院（図書館棟5F）において一般の方を対象に夏季中国文化体験講座を開催しました。

一日目は中国とはどのような国かを参加者に紹介し、二日目はさまざまな体験イベントを催しました。切り絵体験ではオリジナルの猫の切り絵を作成したり、太極拳レッスンでは24式を一通り体験、中国歌曲では、人気歌手テレサ・テンの名曲「小城故事」を中国語で歌ってみたり、また中国映画も鑑賞したりしました。短い時間でしたが、盛りだくさんのイベントを組みこんだため、会場に来られている参加者全員楽しい一時を過ごしていただけた事が出来ました。孔子学院の窓口を通じて一人でも多くの方々にもっと中国を知っていただけたために、これからも様々なイベントを企画しようと思っているので、皆さん、その節は是非とも足を運んでください。

(孔子学院講師 韓雲冬)



太極拳体験の一場面

# サクセスを勝ち取ろう! 就職 便り

Okayama Shoka University

## 国内・海外インターンシップへ22名が参加



おかやま信用金庫での就業体験

インターンシップへの関心が高まる中、今夏も国内・海外へ多数の学生達が就業体験を行いました。参加したのは商学部13名、法学部6名、経済学部3名の計22名の学生です。

本学では①信用金庫インターンシップ(岡山県信用金庫協会協定)、②税理士インターンシップ(中国税理士会岡山県支部連合会協定)、③ハイパーキャンパス(各都道府県経営者協会)、④海外インターンシップ(株石井表記)の4つ

のインターンシッププログラムを用意しています。学生達は、将来の夢を考えながら各自の事業所で1~2週間の就業体験を行います。今回の受入事業所の一つ、おかやま信用金庫(岡山市)では、金融商品の説明や手形小切手事務処理、窓口業務等々を体験し、金融業界では基本となる札束勘定では、慣れない手つきで模擬紙幣を広げて勘定の練習を行っていました。同信金のインターンシップに参加した経済学部3年足立英男さんは、「早い段階で就業体験をしたことで働くことのやりがいを感じました。」と話していました。

### ○信用金庫インターンシップ

おかやま信用金庫(岡山市)

### ○税理士インターンシップ

税理士法人ユニオン(岡山市)

税理士法人パートナーズ(岡山市)

税理士法人福原・嘉崎会計事務所(岡山市)

竹井照一税理士事務所(倉敷市)

### ○ハイパーキャンパス

岡山プラザホテル(株)(岡山市)

はるやま商事(株)(岡山市)

(財)岡山県青年館(岡山市)

(株)トマト銀行(岡山市)

岡山トヨペット(株)(岡山市)

(株)天満屋(岡山市)

ビジネスセンター岡山(株)(岡山市)

岡山市役所(岡山市)

(株)カネソ22(笠岡市)

(株)高梁国際ホテル(高梁市)

四国コカ・コーラボトリング(株)(高松市)

アビリティーセンター(株)(高知市)

島根県信用保証協会(松江市)

### ○海外インターンシップ(フィリピン)

JPN社(株石井表記)

### ○その他

津山市役所(津山市)

## 地学地就バスツアーin児島

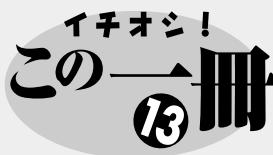
地場産業を通して地元企業の活躍を知る「地学地就バスツアー」が8月5日、倉敷市児島で開催しました。今回訪問したのは、富士ヨット学生服でおなじみの学生服メーカー(株)明石被服興業です。

倉敷市児島は、学生服製造の産地として学校制服分野では全国一の生産高であり、岡山県を代表する地場産業となっています。今回は、その児島に本社があり多数の本学卒業生が在籍している同社へ訪問し、児島地区的学生服製造の歴史、製造工程等について説明を受けました。

昨今は就職状況も売り手市場であり、東京・大阪の企業へ学生がシフトする傾向がある中、



バスツアーを通じて改めて地元企業の素晴らしさを感じてもらう機会となればと考えます。なお、当日は新聞・テレビ各社も取材に訪れ、バスツアーの模様が大きく報道されました。



軍記物とは、戦国時代・安土桃山時代から江戸時代初期にかけて、戦国武将や近世大名の武勲や武功について物語形式で記述した書物をいいます。この備前軍記も、備前を中心に、周囲の美作・備中・播磨を舞台として展開された戦国動乱を扱った物語で、岡山と深い関わりがある戦国武将の活躍や栄枯盛衰の跡を、生き生きと描いた戦記物語です。原文の軍記物を編著で岡山史学研究の権威であった柴田一氏が現代語訳し、歴史学に興味無い人にも理解出来るように記述してあり是非一読に挑戦頂きたい、お勧めの一冊です。

巻第一から巻第五そして備前軍記附録と解題より成る374ページで構成されています。

私が興味を覚えたのは巻第三の『沢田村の明禪寺城が落城する事』の箇所です。岡山市の辛川市場から、備中松山城主の三村元親が7千の兵を連れて、宇喜多直家を倒すべく岡山市沢田の明禪寺城を攻めるのですが、まさしく岡山商科大学の地・津島京町を通過していることが解ります。織田信長や毛利元就が活躍していた時代と同時期です。

この他にも、いつも生活の場として何気なく通っている場所なども記述されており、より一層の歴史ロマンに浸ることが出来ます。『備前軍記』の中に記述された物語が、いつの日かNHKの大河ドラマに採用されるといいのですが。山陽新聞社が刊行し郷土・岡山を身近に感じる、探求心を呼び起こせる一冊であります。

(図書課 藤岡 彰)

『新訳 備前軍記』 柴田 一 編著・山陽新聞社刊・1986年

新訳備前軍記

柴田 一 編著

山陽新聞軍記物シリーズ

戦国争乱の吉備野を舞台に  
浦上、松田、三村、宇喜多氏の  
興亡を描く!!

山陽新聞社刊

# キャンパス キャンバス

商大・学生魂ここにあり!

## サークル紹介 ~柔道部~

●柔道部 金子 芳史

我々岡山商科大学柔道部は日々の練習に勤しみ、鍛錬に鍛錬を重ね、昨年3年ぶりに中四国学生柔道優勝大会を奪還しました。今年も優勝し、二連覇を達成しました。



そして中四国王者という肩書きを自信にして、ベスト8を目指に全日本学生優勝大会に挑みました。一回戦、東京代表の國學院大學に善戦しましたが、惜しくも2-1で敗れました。

我々岡山商科大学柔道部は試合での結果、強さだけでなく、日頃の生活態度、学業にも重きを置いています。上級生は、後輩の見本となる行動をとるよう心がけ、下級生を指導しています。

このように柔道だけではなく、文武両道という人に認められる柔道家を目指し、地方でも全国で勝てることを証明していきたいと思います。

## 2008年度前期試合結果

サークル名	大会名	場所	期間	種目	結果
柔道部	平成20年度中四国学生柔道優勝大会	岡山武道館	5月25日	団体	男子優勝、女子第4位
	第57回全日本学生柔道優勝大会	日本武道館	6月28日	団体	男子出場、女子出場
	第63回国民体育大会柔道競技岡山県予選	岡山武道館	7月 6日	個人	60kg以下優勝、73kg以下優勝
	第40回全日本ジュニア柔道体重別選手権中国予選	岡山武道館	7月13日	個人	準優勝2名
	平成20年度中四国学生柔道体重別選手権大会	愛媛県立武道館	8月27日	個人	
	平成20年度中四国学生柔道体重別団体優勝大会	愛媛県立武道館	8月28日	団体	
	第60回国民体育大会秋季大会		9月28日	団体	2名出場予定
陸上部	第62回中国四国学生陸上競技対抗選手権大会	春野総合運動公園	5月11日	団体・個人	男子総合第5位
	2008日本学生陸上競技個人選手権大会	平塚競技場	6月 8日	個人	出場
	第61回西日本学生陸上競技校対校選手権大会	西京極競技場	7月 5日	個人	出場
卓球部	第59回中国卓球選手権大会春季大会	岡山市総合文化体育館	5月25日	団体・個人	男子準優勝、女子準優勝、男子個人優勝
	第25回中国・四国学生卓球選手権大会	松山市総合コミュニティセンター	6月28日	団体・個人	男子準優勝、女子優勝、男子個人優勝
軟式野球部	春季I部リーグ戦	しまなみ球場等	5月30日	団体	第3位
硬式野球部	平成20年度中国六大学野球春季リーグ戦	マスカット球場等	4月～5月	団体	第3位
日本拳法部	西日本学生拳法選手権大会	大阪府立体育館	4月20日	団体	第5位
	第21回全国大学選抜選手権大会	早稲田大学	6月 1日	団体	ベスト16
ゴルフ部	平成20年度中四国学生ゴルフ春季1部校対抗戦	加茂カントリークラブ	4月10日	団体	第3位
ウエイトトレーニング部	春季関西学生パワーリフティング選手権大会	阪南大学	5月11日	個人	第5位
	第35回全日本学生パワーリフティング選手権大会	名城大学	5月25日	個人	第8位

## ソフトボール大会開催

●体育会本部 三好 康太

去る5月17日(土)に体育会本部の春の企画として、新入生をはじめとする一般学生同士の交流を深めるためにソフトボール大会を開催いたしました。

開催の1ヶ月ほど前から学内で出場チームの募集したところ、サークルや有志の学生同士のチームが7チームもエントリーしていただきました。



当日は晴天に

恵まれ大変暑い1日となりましたが、早い時間から参加学生に集まつていただき、トーナメント形式での大会の開催でした。運営にあたって、女性の学生や、未経験者でも参加しやすいようにハンデをつけ、ドリンクを参加者に配布して熱中症予防にも配慮致しました。どのチームも一生懸命プレーしており、多数の声援も飛び交っていました。大会は大きなケガや事故の起こることなく無事に終了し、運営にあたった学生も、参加した学生もおおいに楽しむ事ができた企画となりました。

例年、体育会本部では内容を変えて一般学生のために楽しい企画を考えており、今後もより一層学生と学校を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

